

ビジネス科学研究科 経営システム科学専攻（博士前期課程）

基礎科目

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
01KA001	経営基礎	4	1.0	1	春A	火7,8	BNK120	吉武 博通, 稲水 伸行, 立本 博文	経営学の全体像を理論と実務を関連付けながら示した上で、経営戦略論と経営組織論の基礎概念と基本枠組みについて概説する。経営戦略論では、戦略の概念や競争戦略について学ぶ。経営組織論では、組織の概念や組織デザインについて学ぶ。	
01KA003	ファイナンス基礎	4	1.0	1	春A	土5,6	BNK120	山田 雄二	ファイナンスの基礎となる概念および手法について学習する。キャッシュフロー評価、正味現在価値に基づく投資戦略、リスク評価、資本構成、負債口配当政策など、より専門的な内容を理解するために前提となる知識を習得する。	4/25(土)のみ116講義室
01KA004	会計基礎	4	1.0	1	春A	金7,8	BNK120	中村 亮介	入学前に会計の基礎教育を受けた経験を持たない学生を対象に、簿記と決算の基本について教える。日常の経済活動を会計的に記録する（取引記録）から始まり、決算を行って貸借対照表と損益計算書作成の一連の作業の意義が理解できることが講義の目標である。	
01KA005	ビジネス数理	4	1.0	1	春A	木7,8	BNK120	牧本 直樹	ビジネス科学を学ぶために必要となる数理的な基礎知識や、ビジネス上の問題を数理的に取り扱うためのモデリングなどについて講義する。具体的な内容としては、論理、集合、ベクトルと行列、線形代数、関数、微積分などを、さまざまな例を題材に学ぶ。	
01KA006	計算機科学基礎	4	1.0	1	春A	水7,8		久野 靖, 大木 敦雄	計算機による情報処理の原理について、基本概念と基本ソフトウェアの範囲を中心に学ぶ。キーワード：コンピュータのハードウェア、プログラムの動作原理、オペレーティングシステム、言語処理系、ファイルシステム、ウィンドウシステム。	教室：648計算機講義室
01KA007	ビジネスと情報	4	1.0	1	春A	土3,4		久野 靖, 吉田 健一, 津田 和彦, 大木 敦雄, 倉橋 節也	今日のビジネスシーンにおいて、情報や情報技術がどのように関わって来るか、情報や情報技術がビジネスにどのような形でプラスやマイナスの影響を与え得るか、ビジネス側から情報や情報技術に対してどのような知識を持ち、どのような姿勢でアプローチすべきかについて、さまざまな切り口から取り上げる。	教室：648計算機講義室

専門科目

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
01KA101	トップレクチャーI	1	1.0	1・2					民間企業、教育・研究機関、官公庁、国際機関等のトップ・マネジャーを講師に迎えて、現実の企業や社会システムにおける諸問題の解決方法やトップマネジメント戦略の構築並びに実践方法などについての講義を行う。	2015年度開講せず。主専攻必修科目詳細後日周知 西暦偶数年度開講、H24年度以前入学者推奨プログラムMS/FA/OM/BI
01KA102	トップレクチャーII	1	1.0	1・2	夏季休業中	集中			トップレクチャーIに続いて、民間企業、教育・研究機関、官公庁、国際機関等のトップ・マネジャーを講師に迎えて、現実の企業や社会システムにおける諸問題の解決方法やトップマネジメント戦略の構築並びに実践方法などについての講義を行う。	西暦奇数年度開講。主専攻必修科目詳細後日周知 H24年度以前入学者推奨プログラムMS/FA/OM/BI
01KA103	ビジネスゲーム	4	1.0	1	春C	土2,3			企業経営を、企業戦略、調達、生産、マーケティング、会計等の諸機能分野から構成されるシステムとして理解し、情報の収集・分析を通して、総合的視点から経営の意思決定を論理的に行う能力を修得する。	教室：648計算機講義室 H24年度以前入学者推奨プログラムMS/FA/OM/BI
01KA105	消費者行動	4	1.0	1・2	春B	水7,8	BNK120	西尾 テヅル	マーケティング戦略上の諸課題との関連性を意識しつつ、マーケティング対象となる市場を構成する消費者の嗜好構造や行動を分析するための枠組み、方法に関する代表的な理論やモデルを概説する。具体的には、消費者行動を規定する外部環境要因、個人差要因、認知・態度・行動などの購買意思決定プロセスなどに関する研究成果を検討し、消費者行動の測定方法や分析アプローチを学習すると共に、事例などを通じて、企業の具体的なマーケティング戦略への展開方法を議論する。	H24年度以前入学者推奨プログラムMS/BI
01KA106	現代マーケティング論	4	1.0	2	春A	金7,8	BNK116	西尾 テヅル	地球環境問題への対応、CSR、顧客関係性の構築等、現代マーケティングにおける重要なテーマを取り上げる。具体的には、法規制、市場構造、競争環境等、企業のマーケティングをとりまく社会環境の変化を整理すると共に、市場構造や競争環境を分析するための枠組みや方法に関する代表的な理論やモデルを概説する。その上で、企業のマーケティングのあり方と展開方法について議論を行う。	H24年度以前入学者推奨プログラムMS
01KA107	マーケティングリサーチ	4	1.0	1・2	春C	水7,8	BNK120	佐藤 忠彦	マーケティング意思決定における諸問題を、市場や顧客に関するデータと論理に基づいて科学的に捉えるための基本的な考え方と具体的な方法を概説する。講義では、市場や顧客データの収集や分析、伝達といったマーケティングリサーチ技法について説明する。	H24年度以前入学者推奨プログラムMS/FA/OM/BI

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
01KA109	マーケティングサイエンス	4	1.0	2	春A	水7,8		佐藤 忠彦	マーケティング意思決定における諸問題を、市場や顧客に関するデータを用いて科学的に捉えるための技術について学ぶ。特に、統計的手法を用いたマーケティングデータの解析法を解説し、その内容に関して実際に演習してもらうことで、マーケティングにおけるデータ分析の実際を体得してもらう。	教室:649計算機講義室 H24年度以前入学者推奨プログラムMS/OM
01KA114	経営戦略論	4	1.0	1・2	春C	火7,8	BNK120	立本 博文	経営戦略論の基礎的な内容について学習する。加えて、技術戦略や競争戦略に関する主要理論・概念および分析フレームワークについて検討した上で、最新の理論について概説する。	H24年度以前入学者推奨プログラムMS/FA/OM/BI, 7/28(火)のみ119講義室
01KA115	経営組織論	4	1.0	1・2	春B	火7,8	BNK120	稲水 伸行	経営組織論には、(1)組織を意思決定過程の連鎖と見る近代組織論、(2)組織における人間行動を見るミクロ組織論、(3)組織とそれを取り巻く環境の適合関係を見るマクロ組織論がある。本講義では、これらについて、講義と輪読を組み合わせ、全般的に学習する。さらに、いくつかのトピックを取り上げて、クラス全体で討議を行い、理論、および理論と実践とのつながりについての理解を深める。	H24年度以前入学者推奨プログラムMS/FA/OM/BI
01KA118	組織文化とリーダーシップ	4	1.0	1・2	秋B	火7,8	BNK120	稲水 伸行	近年、企業を取り巻く環境は激しく変化してきている。その中で企業が存続・成長していくためには、経営組織の絶えざる革新をしなければならぬ。そのためには何をなすべきか。本講義では、組織文化やリーダーシップを主な切り口として、関連する国内外の文献を輪読し、理解を深める。	H24年度以前入学者推奨プログラムMS/BI
01KA120	人的資源管理		1.0	1・2	秋A	木7,8	BNK120	吉武 博通	HRM理論を概観した後、HRM実践が組織構成員や組織パフォーマンスにどのような影響を与えるのかを実証的に明らかにする。具体的には、個人々人への影響としては組織コミットメントやコンピテンシー等の内容を取り上げ、組織パフォーマンスの観点からは、ベストプラクティスや人的資源管理施策間の相互補完性や相乗効果の有効性を考察する。	H24年度以前入学者推奨プログラム:なし
01KA125	インベストメントサイエンス	4	1.0	1・2	春C	木7,8	BNK120	山田 雄二	本講義では、まず、ポートフォリオ理論の基礎となる平均分散アプローチおよびMarkowitz モデルとその周辺の数学について解説する。さらに、資本市場価格付けモデル(CAPM) や効用関数論、および投資家の期待効用を導入し、投資意思決定に必要なツールの基礎を習得する。	H24年度以前入学者推奨プログラム:FA/OM
01KA126	ファイナンス工学	4	1.0	1・2	秋A	金7,8	BNK120	山田 雄二	本講義では、デリバティブ取引の概要およびデリバティブ価格付けの基本概念を導入し、オプションを用いた取引、無裁定価格理論、オプションヘッジ戦略について解説を行う。さらに、これら理論や手法について、実際に計算機を使ってシミュレーションを行う。	H24年度以前入学者推奨プログラム:FA/OM/BI
01KA127	金融リスク分析	4	1.0	2	春B	水7,8	BNK116	牧本 直樹	マーケットリスク、クレジットリスク、オペレーショナルリスクなどの金融リスクを計量化するための種々のモデルと、関連するデータ解析手法、デリバティブ評価の理論、リスクヘッジ手法について解説する。	H24年度以前入学者推奨プログラム:FA/OM/BI
01KA135	財務会計		1.0	1・2	秋A	火7,8	BNK120	中村 亮介	資本市場と株式会社を結びつけるコミュニケーション媒体としての財務報告書の役割について理解するとともに、国際会計基準委員会が主導する会計統一化の方向にしたがって国際的な会計の動向を講義する。	H24年度以前入学者推奨プログラム:FA
01KA139	技術経営論	4	1.0	1・2	秋C	火7,8	BNK120	立本 博文	技術経営論は、製造業の国際競争力の低下を契機に、現実の要請から生まれた学問領域である。その内容は、製造業における多様な経営上の問題に対して、実務的・現実的な解法を探ることにある。競争力獲得のためには、どのような戦略(もしくは戦略的思考)が必要なのかを学習する。本講義では、主にイノベーション、オープン化・標準化、デジタル化、グローバル化とビジネスモデルについて、講義と輪読を組み合わせ、全般的に学習を行う。	H24年度以前入学者推奨プログラム:MS
01KA142	最適化モデル	4	1.0	1・2	秋A	水7,8	BNK120	猿渡 康文	ビジネス上の様々な問題を科学的に捉え、解決する見方・態度を養うことを目的として、問題を解決するための「科学的な意思決定方法」について学ぶ。特に、最適化に焦点を当て、その基本的なモデルである線形計画モデルを中心に、数理的なもの見方や計画技法を計算機ソフトウェアを利用しながら体得する。	教室:648計算機講義室 使用もある。詳細は担当教員より確認のこと。 H24年度以前入学者推奨プログラム:FA/OM/BI
01KA144	ロジスティクスとサプライチェーン	4	1.0	1・2	秋B	金7,8		猿渡 康文	ロジスティクスやそれを包含するサプライチェーンに関わる諸問題を科学的な視点で捉え整理し、それらの問題を解決するためのモデル化と解決方法について講義する。特に、ロジスティクスやサプライチェーンの計画立案の場では生じる意思決定問題を取り上げ、線形計画、ネットワーク計画、整数(組合せ)計画といった理論や手法を、事例をもとに講義する。	詳細後日周知 H24年度以前入学者推奨プログラム:FA/OM/BI
01KA147	データ解析	4	1.0	1・2	春B	木7,8	BNK120	尾碕 幸謙	様々なビジネスデータを分析するための統計の基礎を学習する。データの分類・要約・可視化、基本統計量、回帰分析、統計的検定や推定の考え方、及び分析結果の解釈などについて、講義と実習を交えながら学習する。	H24年度以前入学者推奨プログラム:MS/FA/OM/BI

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
01KA149	多変量解析	4	1.0	1・2	春C	金7,8	BNK120	尾碕 幸謙	ビジネスデータとしてよく現れる多変量データを分析するための方法として主成分分析, 因子分析, 判別分析, クラスタ分析, 数量化などの手法とそれらを利用した分析例について, 講義と演習を通して学ぶ。	H24年度以前入学者推奨プログラム:MS/FA/OM/BI
01KA155	統計モデル	4	1.0	1・2	秋B	木7,8	BNK120	尾碕 幸謙	現在, 社会科学諸分野で共分散構造分析(構造方程式モデリング)が広く使用されている。共分散構造分析は回帰分析や因子分析など各種多変量解析をその下位モデルとして包含しており, 多変量解析に関する理解を深める意味でも学ぶ意味がある。本講義の内容は, 共分散構造分析の理論と実践であり, データ解析実習を繰り返すことで知識を深めていく。また, 共分散構造分析のみならず他の統計モデルについても扱う予定である。	H24年度以前入学者推奨プログラム:なし
01KA162	オブジェクト指向プログラミング	4	1.0	1・2	秋A	火7,8		久野 靖, 大木 敦雄	現在の世の中におけるソフトウェア開発の主流技術であるオブジェクト指向プログラミングについて, Java言語によるプログラミング実習を通じて原理と実際の両面から理解する。キーワード: クラス, インスタンス, インタフェース, 継承, ポリモルフィズム。	教室:648計算機講義室 H24年度以前入学者推奨プログラム:BI
01KA163	情報セキュリティ	4	1.0	1・2					今日では情報を扱うにはコンピュータシステム/ネットワークなしには考えられない。まずコンピュータシステム/ネットワークセキュリティの視点から要素技術を概観し, それらがセキュリティにおよぼす影響を考える。キーワード:暗号, 認証, PKI, コンピュータウィルス, フィッシング, 安全性, 完全性, 可用性。	2015年度開講せず。 西暦偶数年度開講、 H24年度以前入学者推奨プログラム:BI
01KA164	人工知能とビジネス情報分析	4	1.0	1・2	春C	土5,6	BNK120	倉橋 節也	人間の知的行動を, 計算機を用いて問題解決に適用する人工知能の基礎理論・応用手法を論ずる。具体的な内容としては, (1)条件に合うものを見つけ出す, (2)観測した現象を分類する, (3)データから規則や関係性を発見する, (4)生物に学ぶ問題解決手法など, の基礎を学ぶ。講義では, これらの技術を実際のビジネス課題などに適用し, 分析・解決のための演習を行う。計算機科学基礎を履修するか, 初歩的なUNIXの操作ができることが望ましい。 キーワード:探索, パターン認識, クラスタリング, 学習, 進化的アルゴリズム	H24年度以前入学者推奨プログラム:MS/BI
01KA165	データマイニング	4	1.0	1・2	春B	金7,8	BNK116	吉田 健一	代表的なデータマイニング・機械学習の手法について演習を交えながら基礎的な概念を学ぶ。具体的な内容としては, Decision Tree Learning, Artificial Neural Networks, Bayesian Learning, Association Rule Learning, SVMなど。 01KA166と合わせて受講する事で, ネットワーク上のデータをどのように収集し, 分析すればビジネスに役立つ知見を抽出できるかを習得する事を目的とする。01KA165では, この目的に対して基礎的な分析技術を学ぶ。	H24年度以前入学者推奨プログラム:MS/OM/BI
01KA166	インターネットとビジネス情報分析	4	1.0	1・2	秋A	土5,6	BNK120	吉田 健一	インターネット関連のビジネスを進める上で必要な各種事項について基本的な考え方を学ぶ。具体的な内容としては, TCP/IPやWWWなどネットワークに関する基本的技術と, WWWを使ったマーケティングとデータマイニングの関係など。 01KA165と合わせて受講する事で, ネットワーク上のデータをどのように収集し, 分析すればビジネスに役立つ知見を抽出できるかを習得する事を目的とする。01KA166では, この目的に対してデータ収集技術の基礎を学ぶ。	H24年度以前入学者推奨プログラム:BI
01KA167	アルゴリズム	4	1.0	1・2					計算機上で実行される演算アルゴリズムについての基本的な用語やデータ構造について解説し, いくつかの具体例を紹介する。また, 問題の難しさについても概説する。手際良く問題を処理するプログラムを適用するノウハウの土台となるであろう。	2015年度開講せず。 H24年度以前入学者推奨プログラム:BI
01KA168	テキストマイニング	4	1.0	1・2	春C	木7,8		津田 和彦, 原田 智彦	インターネットなど爆発的に増加する情報量の中から必要な情報を探し出すことは, キーワード検索のみでは困難である。そのため, 分野分類, 概念検索, 更には意図理解など, 高度な検索技術が開発されつつある。本講義では, 様々な高度検索技術の基盤となるアルゴリズムについて紹介する。	教室:648計算機講義室 H24年度以前入学者推奨プログラム:MS/OM/BI
01KA170	ソフトウェア工学	4	1.0	1・2	春C	水7,8	BNK116		情報システムを構築するためには, 企業情報を組織化し, 管理し, 運用する手法が必要である。本講義では, 情報システム開発において必要となるソフトウェア工学の基本的な知識として, 開発プロセス, モデル化技術, オブジェクト指向, 開発支援ツール, 保守発展, テストに関する工学的取組を解説する。 キーワード:開発プロセス, 要求分析, 分析・設計におけるモデル化技術, 検証技法, ソフトウェア発展, プロジェクト管理	H24年度以前入学者推奨プログラム:BI

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
01KA172	社会シミュレーション	4	1.0	1・2	秋B	水7,8	BNK120	倉橋 節也	シミュレーション手法は、自律性と相互作用を考慮するエージェントモデルの登場によって、経営分析や社会行動分析、制度設計などへの応用が進んでいる。本講義では、社会シミュレーションの概念とマルチエージェント手法、人とエージェントが参加するゲーミングシミュレーションなどについて学ぶ。演習では、マルチエージェントモデリング開発環境の演習と、金融市場をモデル化した人工市場などを用いて、社会シミュレーションモデルの実装を行う。実際にモデルを作成し動かすことを通して、シミュレーションを実践的に学ぶ。	H24年度以前入学者推奨プログラム:OM/BI
01KA174	要求工学	4	1.0	1・2					情報システムを構築/改良するに当たって、システムの現状や、あるべき形を定式化する必要がある。本講義では、情報システム開発に関するステークホルダ分析、現状の課題の抽出、さらに、課題を解決するための手段を探索する手法を紹介する。キーワード: 要求分析, オブジェクト指向分析, ビジネスモデリング, UML.	2015年度開講せず。西暦偶数年度開講、H24年度以前入学者推奨プログラム:BI
01KA180	社会調査法	4	1.0	1・2	秋B	金7,8	BNK120	加藤 毅	現実社会の動向を把握する上で社会調査自体の有効性は広く認知されているが、調査の質を規定するその技術的な側面についてはあまり知られていない。講義では、アンケート調査における質問紙作成上の技術に加えて、その前段階である調査フィールドの設定やサンプリング理論、調査仮説を明確化するうえで重要な役割を果たす定性的データの獲得(インタビュー調査等)とデータの統合技法(KJ法)、後段階であるデータ解析の基本的技術と分析結果のフィードバックなどについて、様々な事例を通じて理解を得ることを目的とする。	H24年度以前入学者推奨プログラム:MS/FA/OM
01KA181	非営利組織マネジメント	4	1.0	1・2	春B	金7,8	BNK120	加藤 毅	政府・市場の失敗を受け、非営利セクターに対する期待が高まりつつある。講義では、わが国における非営利セクターの全体像および国際的な動向を踏まえた上で、社会学的アプローチを通じて非営利セクターの体系的理解を深めることを目的とする。さらに、非営利セクターの発展によってもたらされるであろう社会の可能性と問題点についても検討を行う。	H24年度以前入学者推奨プログラム:MS/FA
01KA182	経営戦略・組織特論		1.0	1・2	秋学期	集中		吉武 博通 稲水 伸行, 立本 博文	経営学分野における最近のテーマについて、学内・学外から講師を招き、多面的な視点で講義を行う。戦略的な企業間関係、コーポレートガバナンスの変化が経営組織にあたる影響、事業のサービス化をベースとした企業モデルの構築、などのテーマを予定している。	H24年度以前入学者推奨プログラム:なし
01KA184	人材育成論	4	1.0	1・2	秋A	土3,4	BNK120	佐野 享子	ビジネスの現場で高度な専門性を発揮し、リーダーとして活躍しうる人材をいかに育成するかをテーマとします。今日企業で実施されている人材育成(HRD)の実践のいくつかには、心理学等を基盤として発展してきた成人学習の理論に基づく原理を、その根底に看取することができます。この授業では、成人学習の理論をベースに、人材開発や組織開発に関する理論をてがかりとして、企業における人材育成の今日的あり方について再考するとともに、人材育成の原理に関する理解を深めることをねらいとします。論文の執筆に役立つよう、質問紙法、事例研究法、実験法をそれぞれ用いた研究論文の購読を毎回の事前課題とし、批判的な検討を進めていきます。	H24年度以前入学者推奨プログラム:MS/BI
01KA185	企業ガバナンスとマネジメント	4	1.0	1・2	秋B	土5,6	BNK120	吉武 博通	企業における株主総・取締役会・経営会議・ディスクロージャ等に関する実務経験を通じ、企業ガバナンスの現状と課題を概説する。併せて、日本経済の長期停滞や社会の閉塞感の背景として考えられる組織パフォーマンスの低下という問題を取り上げ、課題解決能力を高めるための組織マネジメントのあり方を検討する。更にガバナンスとマネジメントの問題を総合し、企業とは何か、国際競争の下で日本企業の経営はいかにあるべきかについて討議する。	H24年度以前入学者推奨プログラム:MS/FA
01KA187	プロジェクト・マネジメント	4	1.0	1・2					プロジェクトマネジメントでは、有期で明確な目的を持ったプロジェクトを成功させるために様々な手法が適用されている。講義では、スケジュール管理、作業分割構造の定義、計画立案、評価を事例を用いて演習し、各手法の有効性と課題を議論する。これらの手法の中には、伝統的なガントチャート、PERT図などの他に、TOC(Theory ofConstraint)およびEVM(Earned Value Method)といったプロジェクト計画と制御で導入が進んでいる手法についても触れる。	2015年度開講せず。H24年度以前入学者推奨プログラム:BI

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考	
01KA188	会計情報分析		4	1.0	1・2	秋B	土3,4	BNK120	中村 亮介	会計学の先進的な知識をベースに、会計情報が実務のどのような局面で利用されているのかを考察し、会計情報の活用の方針について実証研究の結果や企業の事例をもとに議論する。具体的には、報酬契約・債務契約・証券投資といった局面における会計の機能を理解し、その知識を実務に応用できることを目標とする。	H24年度以前入学者推奨プログラム:なし
01KA189	テキスト処理		4	1.0	1・2	春B	火7,8		久野 靖, 大木 敦雄	計算機によるデータ収集・分析の前段階として必須であるテキストの抽出・整形処理や、データ保管に用いられるデータベースの概念・機能などについて、実際のプログラミング言語による実習を交えて学ぶ。	教室:648計算機講義室 H24年度以前入学者推奨プログラム:B1
01KA502	オペレーションズ・リサーチ		1.0	1・2	秋C	水7,8	BNK120	牧本 直樹	オペレーションズ・リサーチのさまざまなトピックや応用の中からテーマを選び、基盤となる理論やモデル、ビジネスでの応用事例などを解説する。テーマ例としては、シミュレーション、予測、マルコフモデル、意思決定など。	H24年度以前入学者推奨プログラム:OM	
01KA504	プログラミング		4	1.0	1	春B	土3,4		津田 和彦	プログラミング未経験者を対象として、プログラミングの概念を学ぶと共に、基本的なソフトウェア構築が行えるようになる。プログラミング入門、プログラミングの概念、ソースプログラム、コンパイル、実行プログラム、変数と式、入力と出力、ループと制御構造、アルゴリズムの概念、基本的なアルゴリズム、アルゴリズムの正しさ、など。	教室:648計算機講義室 H24年度以前入学者推奨プログラム:B1
01KA510	ユーザインタフェース		4	1.0	1・2					コンピュータと人間の間のインタフェースについて、ユーザモデル、設計手法、実装技術、考慮点などを中心に、評価実験や具体的な実装まで含めて取り上げる。	2015年度開講せず。 西暦偶数年度開講。 H24年度以前入学者推奨プログラム:B1
01KA511	情報システムとWeb技術		4	1.0	1・2	秋B	火7,8		久野 靖	Webシステムやその他の分散システムをはじめとする情報システムを設計し構築する上で必要となるモデル化手法や、実装に使われる言語や技術や技法について、具体例を含めて取り上げる。	教室:648計算機講義室 西暦奇数年度開講。 H24年度以前入学者推奨プログラム:B1

研究科目(経営システム科学専攻)H25年度以降入学者

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考	
01KA241	経営システム科学研究・春I		2	1.5	1	春A 春B	土7 土5,6	BNK120 BNK116	久野 靖, 牧本 直樹, 倉橋 節也, 佐藤 忠彦, 吉武 博通, 西尾 チツル, 津田 和彦, 大木 敦雄	1年次の春学期に行われるセミナー形式の授業で、学生と教員のディスカッションを通して研究方法の基礎を学ぶとともに、各自の研究計画を再検討する。	平成25年度以降入学者対応科目
01KA242	経営システム科学研究・春II		2	1.5	2	春ABC	随時		経営システム科学専攻各教員	2年次の春学期に行われるセミナー形式の授業で、指導教員の下で学生各自の研究テーマに関連する既存の研究のサーベイと研究方法の習得を目標とする。	平成25年度以降入学者対応科目
01KA243	経営システム科学研究・秋I		2	1.5	1	秋ABC	随時		経営システム科学専攻各教員	1年次の秋学期に行われるセミナー形式の授業で、指導教員の下で学生各自の研究テーマに関連する既存の研究のサーベイと研究方法の習得を目標とする。	平成25年度以降入学者対応科目
01KA244	経営システム科学研究・秋II		2	1.5	2	秋ABC	随時		経営システム科学専攻各教員	2年次の秋学期に行われるセミナー形式の授業で、指導教員の下で学生各自の研究テーマに関連する既存の研究のサーベイと研究方法の習得を目標とする。	平成25年度以降入学者対応科目
01KA245	経営システム科学特別研究・春I		2	1.5	1	春ABC	随時		経営システム科学専攻各教員	春学期に開講する科目で、休学などの理由で卒業年限を延長した場合の3回目の春学期を迎えた学生を対象とする科目であり、経営システム科学研究・春I, IIを既に履修している学生に対して、指導教員の下で、各自の研究テーマに関連する学習を行う。	平成25年度以降入学者対応科目
01KA246	経営システム科学特別研究・春II		2	1.5	2	春ABC	随時		経営システム科学専攻各教員	春学期に開講する科目で、休学などの理由で卒業年限を延長した場合の4回目の春学期を迎えた学生を対象とする科目であり、経営システム科学特別研究・春Iを既に履修している学生に対して、指導教員の下で、各自の研究テーマに関連する学習を行う。	平成25年度以降入学者対応科目
01KA247	経営システム科学特別研究・秋I		2	1.5	1	秋ABC	随時		経営システム科学専攻各教員	秋学期に開講する科目で、休学などの理由で卒業年限を延長した場合の3回目の秋学期を迎えた学生を対象とする科目であり、経営システム科学研究・秋I, IIを既に履修している学生に対して、指導教員の下で、各自の研究テーマに関連する学習を行う。	平成25年度以降入学者対応科目
01KA248	経営システム科学特別研究・秋II		2	1.5	2	秋ABC	随時		経営システム科学専攻各教員	秋学期に開講する科目で、休学などの理由で卒業年限を延長した場合の4回目の秋学期を迎えた学生を対象とする科目であり、経営システム科学特別研究・秋Iを既に履修している学生に対して、指導教員の下で、各自の研究テーマに関連する学習を行う。	平成25年度以降入学者対応科目

研究科目(経営システム科学専攻)H24年度以前入学者

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考	
01KA201	経営システム科学研究I		2	1.0	1	春AB	随時		経営システム科学専攻各教員	1年次の春学期(旧1学期)に行われるセミナー形式の授業で、学生と教員のディスカッションを通して研究方法の基礎を学ぶとともに、各自の研究計画を再検討する。	平成24年度以前入学者対応科目

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
01KA202	経営システム科学研究II	2	1.0	1	春C秋A	随時		経営システム科学専攻各教員	1年次の春学期C秋学期A(旧2学期)に行われるセミナー形式の授業で、指導教員の下で学生各自の研究テーマに関連する既存の研究のサーベイと研究方法の習得を目標とする。	平成24年度以前入学者 対応科目
01KA203	経営システム科学研究III	2	1.0	1	秋BC	随時		経営システム科学専攻各教員	1年次の秋学期BC(旧3学期)に行われるセミナー形式の授業で、指導教員の下で学生各自の研究テーマに関連する既存の研究のサーベイと研究方法の習得を目標とする。	平成24年度以前入学者 対応科目
01KA204	経営システム科学研究IV	2	1.0	2	春AB	随時		経営システム科学専攻各教員	2年次の春AB学期(旧1学期)に行われるセミナー形式の授業で、指導教員の下で学生各自の研究テーマに関連する既存の研究のサーベイと研究方法の習得を目標とする。	平成24年度以前入学者 対応科目
01KA205	経営システム科学研究V	2	1.0	2	春C秋A	随時		経営システム科学専攻各教員	2年次の春学期C秋学期A(旧2学期)に行われるセミナー形式の授業で、指導教員の下で学生各自の研究テーマに関連する既存の研究のサーベイと研究方法の習得を目標とする。	平成24年度以前入学者 対応科目
01KA206	経営システム科学研究VI	2	1.0	2	秋BC	随時		経営システム科学専攻各教員	2年次の秋学期BC(旧3学期)に行われるセミナー形式の授業で、指導教員の下で学生各自の研究テーマに関連する既存の研究のサーベイと研究方法の習得を目標とする。	平成24年度以前入学者 対応科目
01KA219	経営システム科学特別研究I	2	1.0	1	春AB	随時		経営システム科学専攻各教員	春学期A, B(旧1学期)に開講する科目で、休学などの理由で卒業年限を延長した場合の3回目の1学期を迎えた学生を対象とする科目であり、経営システム科学研究I, IVを既に履修している学生に対して、指導教員の下で、各自の研究テーマに関連する学習を行う。	平成24年度以前入学者 対応科目
01KA220	経営システム科学特別研究II	2	1.0	1	春C秋A	随時		経営システム科学専攻各教員	春学期C, 秋学期A(旧2学期)に開講する科目で、休学などの理由で卒業年限を延長した場合の3回目の春学期C, 秋学期A(旧2学期)を迎えた学生を対象とする科目であり、経営システム科学研究II, Vを既に履修している学生に対して、指導教員の下で、各自の研究テーマに関連する学習を行う。	平成24年度以前入学者 対応科目
01KA221	経営システム科学特別研究III	2	1.0	1	秋BC	随時		経営システム科学専攻各教員	秋学期B, C(旧3学期)に開講する科目で、休学などの理由で卒業年限を延長した場合の3回目の秋学期B, C(旧3学期)を迎えた学生を対象とする科目であり、経営システム科学研究III, VIを既に履修している学生に対して、指導教員の下で、各自の研究テーマに関連する学習を行う。	平成24年度以前入学者 対応科目
01KA222	経営システム科学特別研究IV	2	1.0	2	春AB	随時		経営システム科学専攻各教員	春学期A, B(旧1学期)に開講する科目で、休学などの理由で卒業年限を延長した場合の4回目の春学期A, B(旧1学期)を迎えた学生を対象とする科目であり、経営システム科学特別研究IIを既に履修している学生に対して、指導教員の下で、各自の研究テーマに関連する学習を行う。	平成24年度以前入学者 対応科目
01KA223	経営システム科学特別研究V	2	1.0	2	春C秋A	随時		経営システム科学専攻各教員	春学期C, 秋学期A(旧2学期)に開講する科目で、休学などの理由で卒業年限を延長した場合の4回目の春学期C, 秋学期A(旧2学期)を迎えた学生を対象とする科目であり、経営システム科学特別研究Iを既に履修している学生に対して、指導教員の下で、各自の研究テーマに関連する学習を行う。	平成24年度以前入学者 対応科目
01KA224	経営システム科学特別研究VI	2	1.0	2	秋BC	随時		経営システム科学専攻各教員	秋学期B, C(旧3学期)に開講する科目で、休学などの理由で卒業年限を延長した場合の4回目の秋学期B, C(旧3学期)を迎えた学生を対象とする科目であり、経営システム科学特別研究IIIを既に履修している学生に対して、指導教員の下で、各自の研究テーマに関連する学習を行う。	平成24年度以前入学者 対応科目

輪講科目(経営システム科学専攻)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
01KA355	経営システム科学輪講I	2	1.0	1・2	春ABC	応談		経営システム科学専攻各教員	春学期に開講し、経営システム科学の先端的な理論や分析手法、事例に関する著書および論文等を輪読する。	
01KA356	経営システム科学輪講II	2	1.0	1・2	秋ABC	応談		経営システム科学専攻各教員	秋学期に開講し、経営システム科学の先端的な理論や分析手法、事例に関する著書および論文等を輪読する。	
01KA357	経営システム科学輪講III	2	1.0	1・2	春ABC	応談		経営システム科学専攻各教員	春学期に開講し、経営システム科学の先端的な理論や分析手法、事例に関する著書および論文等を輪読する。	
01KA358	経営システム科学輪講IV	2	1.0	1・2	秋ABC	応談		経営システム科学専攻各教員	秋学期に開講し、経営システム科学の先端的な理論や分析手法、事例に関する著書および論文等を輪読する。	
01KA359	経営システム科学輪講V	2	1.0	1・2	春ABC	応談		経営システム科学専攻各教員	春学期に開講し、経営システム科学の先端的な理論や分析手法、事例に関する著書および論文等を輪読する。	
01KA360	経営システム科学輪講VI	2	1.0	1・2	秋ABC	応談		経営システム科学専攻各教員	秋学期に開講し、経営システム科学の先端的な理論や分析手法、事例に関する著書および論文等を輪読する。	